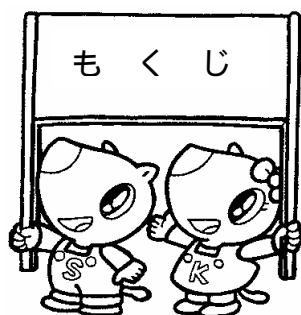
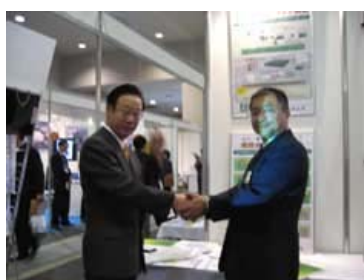


2007.5 第45号

さいきょうベンチャーレポート



P3 ~ 株式会社オンネット・システムズ
社員の皆さんと、展示会の様子



2. 入行式を振り返って
3. ベンチャー企業紹介 **株式会社オンネット・システムズ**
5. セミナー案内
6. 受講者募集：ものづくり研修事業について
7. 弁理士：井上浩の知財小話

SAIKYO

「さいきょうベンチャーレポート」は、株式会社エス・ケイ・ベンチャーズが毎月お届けするベンチャー企業情報誌です。



入社式を振り返って

西京銀行頭取 渡邊 孝夫

平成19年度の弊行入社式が4月2日挙行され、今年は82名の新入社員を迎えることが出来た。「2007年問題」といわれた団塊世代の大量退職の始まりや、緩やかながらも景気回復の後押し効果により、例年になく多数の企業が大量採用に踏み切ったようである。

私は、コミュニケーション(人間関係)の基本は挨拶と笑顔にあると常々思っている。「隗より始めよ」で、私が「おはようございます」と第一声を発すると、一瞬間を置いた後、目を輝かせた新入社員の糸乱れぬ元気一杯の「おはようございます」が返ってきた。何か手応えを感じながら新鮮でうれしい気持ちを覚えた。

入社式訓示の中で、将来を担う希望に満ちた新入社員に、以下のメッセージを贈った。

まずは一所懸命取組んで自分の仕事が好きになるように心掛けること。一所懸命にやっていると最初は手探りでも仕事は自ずと面白くなるものである。先般、お客様から「自分は真面目に一所懸命に仕事をするを父親から学んで来た。そうすると自然に運が向いてきた」というお話を伺ったことが深く印象に残っている。かの松下幸之助氏も「自分の運を信じなさい。それが成功の秘訣である」と説いている。

また、困ったことがあれば自分一人で悩まずに、何でも職場の上司・同僚に相談すること。そして同期の仲間達とも親交を深めて欲しい。それは自分の人生の大きな財産になると思っている。

社会人としてスタート台に立たれた新入社員の皆さん、就職は余程の因縁。そのことを十分に自覚して、時間はかかるかもしれないが目標に向かい一つ一つのことを着実にやり遂げることの大切さ、あきらめずに継続することの尊さ、仕事を通して自分を表現することの楽しさ等々、明るく前向きに考えてもらいたいと願っている。皆さんの若々しい感覚がそれぞれの職場で大きな活力になると信じている。

Made in ちゅうごく

株式会社オンネット・システムズ 代表取締役 重永 裕祥 さん

今回のゲストは、東京地区で活動している山口県出身のベンチャー企業、株式会社オンネット・システムズさんです。大手企業を45歳で退職後、一念発起で起業されて早6年。休日はテニスで汗を流されている重永社長にお話を伺いました。



重永裕祥社長

創業の経緯を教えてください。

昭和49年に地元の下松工業高校を卒業しまして、東洋曹達工業株式会社（現：東ソー株式会社）に入社しました。東ソーでは、本社（東京）情報システム部門に45歳まで勤務しておりました。その中で一貫して、情報処理技術を用いた業務効率化を推進しておりました。中でも、日立製作所（下松工業高校創立者：久原房之助氏（山口県）設立なんです）と行った、全社基幹業務のシステム化は大きな経験となりました。20年の経験を通じ、コンピュータによる業務の効率化業務は極めて創造的な仕事であることを認識しました。20年前コンピュータは高価で、大企業しか利用できませんでした。しかし、技術革新によりコンピュータや通信は極めて安価になり、中小企業への導入も促進されると確信しました。しかし、一方で中小企業には、コンピュータを用いたシステム化ノウハウがまだまだ不足しており、システム化の大きな障害（システム化のために業務を整理する手順が）になっていると感じました。ここにこれまでの経験を以って挑戦する意義があると考え起業しました。

折しも、国のベンチャー育成支援の後押しもあった事を加えておきます。

お一人で起業されたのですか？

はい、1人で起業しました。6ヵ月後に2名となり、それから7年、現在は7名となりました。

どのような方(企業)・どのような市場を対象とされていますか？

私たちは、これまで汎用コンピュータ（数億から数十億のコンピュータ）が行ってきた、業務システム（販売、購買、在庫、人事など）を安価なコンピュータ上で実現するシステムを自らで設計、構築から運用、保守まで一貫して手掛けております。自社で設計を行っておりますので、顧客企業のどのようなご要望にもお応えできるものと考えております。構築しましたシステムは上場企業でも稼動しております。

対象市場としましては「業務改善意欲のある企業」を挙げております。そういった意味ではすべての企業が対象です。その中で、中小企業は情報システム部門を設置できない会社が多いと思いますから、自社でシステムを適用する困難さがあります。そこに弊社の存在感があるものと考えています。キャッチフレーズであります「あなたの会社の情報システム部門になります」は、私たちの事業領域を的確に言い表していると思います。

つまり業務システムだけでなく、顧客企業全体の情報処理領域（PC、ネットワーク運用を含む）すべての業務に対応可能です。



御社の同業他社への優位性は？

基幹業務システムを設計から製造、運用まで一貫して受注する会社は、大手コンピュータメーカを除いて、私どもの様な小さな会社では、そう多くないと考えています。私たちはそれを可能とするために、販売、購買、経理などの業務知識の蓄積、客観的に技術レベルを証明できる情報処理国家資格取得（現在、社員全員）の義務付け。システム開発標準化による、高速なシステム開発方法論の推進、国の補助金による研究開発などによって支えられています。そして何より東京・秋葉原の小さなビルの部屋で徹底的に無駄を排除した開発環境も後押ししています（劣悪な労働条件ですが（笑））。システム化＝WEB、インターネット知識だけではない本質的な情報処理技術の蓄積努力の継続こそが弊社の優位性です。

業務の中で苦労されていることは？

やはり人材の確保、教育です。現在7名で行っていますが、段階的に人を採用し、教育していかねばなりません。この作業は直接的に利益に貢献しませんので、これをどうしていくかが課題です。また人材確保の点では当然、能力のある人が必要なのですが、弊社の様な小さな会社には興味を示してくれません。必要な人材とは、パソコンの操作に詳しいという事ではなく、物事を整理し、詳細化していく力を持っている人です。そういった意味では、未経験者、性別、年齢、学歴（業務が遂行できる程度の学力は必要です。SPI試験を行います。）の区別はありません。

この業界の将来はどうなると予想されているのですか？

情報処理環境（世間ではIT化という）のハード技術革新が凄まじいのですが、私たちが認識すべきことは値段が劇的に下がったということだけです。しかし、ソフトウェア開発コストは従来の汎用機ビジネスが継続されており、極め

て高額です。ですから、現時点ではハードとソフトのコスト比率はいびつになっています。しかし、この状況は崩れつつあります。なぜかという、ハードの値段が下がったことにより、ハードの準備が自社で可能になることで、システム開発が私どもの様な小さな会社でも出来るようになり（これまではメーカの下請け以外の選択はなかった）競争が促進されたからです。東京地区ではここ数年、値段差に着目し、弊社に問い合わせが多くなっています。



また、マスコミにより海外労働者によるコスト抑制が言われておりますが、ソフト製造工程の標準化、自動化と業務知識により、海外労働者による人海戦術型開発とのコスト差は大きくならないと考えています。

山口県出身との事ですが、山口での事業展開も視野に入れていますか？

山口県周南市の出身です。東京に居ても、山口県を意識しちよります。

弊社ではネットワークコストの劇的低下を受け、距離格差は無くなっていると考えています。現に山口県企業のシステムも数社請け負っており、東京で処理しております。

現在、山口県企業と技術提携契約を締結しており、相互の技術基盤を統一した上で、システムの分散開発を本年5月より具体化させます。これにより、開発業務の共同化、相互受注（東京、山口）の推進を行います。

また、人材確保にも期待しています。特に、山口県に留まっている（箱入り娘で）女性労働力に注目しています。

今後の展開はどうされる予定ですか？

とにかく、付加価値経営を推進します。そのためには、技術、知識の蓄積が重要と考えておりますが、もう数年そのための精進が必要です。現在 7 名体制で開発を行っていますが、山口県企業との連携を行い、15 名程度の開発力確保を目指します。

また製品開発（日報管理等）にも力を入れており、初年度の製品売上げ目標を年間 500 万円としています。知識、技術で収益が挙げられる会社経営を目指していくつもりです。

最後に一言お願いします。

とにかく、山口県にとっても愛着があります。現在、江戸で事業をしておりますが、何とか、のどかな長州から維新の偉業にあやかり、全国進出と考えています。江戸の人は、納豆を良く食べますし、餅も四角なんです。チョット違和感がありますね（笑）。

最近 35 年ぶりの中学校の同窓会があり、郷土への思いを強くしています。本誌をご覧になって興味をもたれた方、同級生の方など仕事に関係なく、是非ご連絡下さい。山口県に出張しました時はお会いしましょう。

< 会社概要 >

商号	株式会社オンネット・システムズ
主な事業内容	基幹業務システム開発
秋葉原開発室	東京都台東区台東 1-14-7 B ビレッジ I ビル 6F
電話番号	TEL 03-5807-5081 FAX 03-5807-5082 http://www.onnet.ne.jp
代表者	代表取締役 重永 裕祥 sigenaga@onnet.ne.jp
従業員数	7 名

セミナー案内

講演会「笑いと元気をお届けします！」

～ 商売は、目配り・気配り・心配り～

広島商工会議所女性経営塾では、浪花のカリスマ講師ふくだ友子氏をお迎えし、公開講座を開催いたします。起業家として家庭人として、人生や子育て・教育問題など困難なことにも笑いとチャレンジ精神で体当たり。老若男女を問わず好評を博す講演会に、是非ご参加下さい。

日 時 平成 19 年 5 月 17 日 (木) 15:00 ~ 16:30

場 所 広島商工会議所 2 階 202 号室

主 催 広島商工会議所 小売商業部会 女性経営塾

講 師 アルダオフィス代表 ふくだ友子 氏

定 員 100 人 (定員になり次第締め切ります)

参 加 料 1,000 円 (当日ご持参下さい) 女性経営塾塾生は無料

問 合 せ 先 広島商工会議所 産業振興チーム (担当: 中山、佐々木) TEL: 082 - 222 - 6691

詳細HP http://www.chugoku.meti.go.jp/mailling/keisai/h190409_2.pdf



★受講者募集★



ものづくり技術研修事業について(ご案内)

県内の中小企業者等の技術水準向上と起業化を促進するため、県内中小企業者等の技術者を対象とした、ものづくりに係る基盤技術力の向上を図るための技術研修を開催します。多数ご参加くださるようご案内いたします。

< 研修内容 >

<p>(1) シーケンス制御基礎研修 開催日：H19年5月予定(2日間) 定員：8名 受講料：10,000円 電気設備の運転・保守・管理において、シーケンス回路を活用する技術者を対象に、シーケンス制御についての基礎知識を学習したうえで、シーケンスボード(模擬回路)による回路制作の実習を行い、その特徴と役割を習得するための技術研修を実施する。</p>
<p>(2) PLC(プログラマブルロジックコントローラ)研修 開催日：H19年7月予定(2日間) 定員：8名 受講料：10,000円 主に電気設備の運転・点検・保守の管理をする技術者を対象に、ブラックボックスでイメージがわきにくい、PLCの特徴と役割を実習を通じて習得するため、PLCを実機モデル(電動弁)と組み合わせて回路作成を行うことにより、PLCのプログラミングと保守技術を習得するための技術研修を実施する。</p>
<p>(3) 油圧機器及び油圧機器の分解・組立研修 開催日：H19年8月予定(2日間) 定員：30名 受講料：10,000円 企業の技術者を対象に、設備機器における油圧システムの制御(構成機器・回路設計)について、知識の習得を図るとともに、分解・組立ての実習による基礎的研修を実施する。</p>
<p>(4) CM制作・企業VP・PV等の制作研修 開催日：H19年9月予定(2日間) 定員：20名 受講料：10,000円 企業の広告業務・企業PR制作業務に携わる技術者を対象に、動画メディアを作成する上において、動画の最新制作技術について、専用ソフトを利用した研修会を実施する。</p>
<p>(5) 空気圧機器講習 開催日：H19年10月予定(2日間) 定員：30名 受講料：10,000円 企業の技術者を対象に、設備機器を構成する空気圧機器の動作・制御について、知識の習得と実習による基礎的な研修を実施する。</p>

財団法人やまぐち産業振興財団の賛助会員の方は、受講料を半額とします
上記研修は(独)雇用・能力開発機構の「キャリア形成促進助成金」の対象となっています。
研修内容についての具体的な研修日程および募集については別途お知らせします。
内容については、必要により一部変更をすることがあります。

【問い合わせ・申込先】

財団法人やまぐち産業振興財団 (担当：技術振興部 松田)
〒753 0077 山口市熊野町1番10号 NPYビル10F
TEL 083 922-9927 FAX 083 921-2013
E-mail : yacco@joho-yamaguchi.or.jp



弁理士：井上浩の知財小話



< 弁理士の冥利 >



所長：井上 浩

弁理士になって、今年で10年となりました。電機メーカーの知的財産部に勤務しながら受験勉強をして、体力も気力も消耗して諦めかけたときに運よく合格でき、故郷で特許事務所を開設して今日に至っています。

発明者の皆様とのご面談は数え切れないほど経験しました。優れたアイデアをお持ちの方、面談を重ねる毎にどんどん発明が進化される方、熱っぽくご自慢のアイデアを披露される方、試作品をうれしそうに動かして説明される方、「ボケ防止で発明やってるんですよ」と照れ隠しをされる方、時には情熱のあまり怒り出す方もいらっしゃいました。

商標についても同じです。新しいブランドを立ち上げられて、情熱を込めた商標の相談をされる方、CI（コーポレートアイデンティティ）の一環できちんと商標登録出願をされる方、お子さんの描かれた絵をそのまま商標にしてしまわれた方もいらっしゃいました。

友人からは、よく、いろいろな発明と出会えて楽しそうでいいなあと言われます。確かにその通りで、いわゆる土業の中で、これほど出会いが前向きな仕事はないと思います。

特許権や商標権など知的財産権は、人間のアイデアという形のないものに対して付与される権利ですので、無体財産権と呼ばれますが、弁理士の仕事は、その形のないものを出願書類という形にする仕事ということもできます。

そして、その形ある出願書類から、権利が生まれ、その権利から思いや夢、幸せといった、形のないものへと再びつながっていく、そのお手伝いをする仕事ということもできるような気がします。

事務所のドアが、形なく目にも見えず、でも大切な、夢や幸せへの扉となれるようにこれからも精進しなければとしみじみ考えるこの頃です。

(維新国際特許事務所)

〒753-0077 山口市熊野町 1-10 NPY ビル 8 F

TEL:083-901-2233 FAX:083-901-2266

21世紀の
エジソンを
山口から

<http://www.iipi.jp>

資産運用
相談コーナー
好評お取り扱い中

ライフプランにあわせて上手にお金を運用
[さいきょう]で**資産づくり**

あなたのライフプランを
お聞かせください。

お客様のライフプランにあわせて
経験豊富な資産運用アドバイザーが
お客様のさまざまなご相談にお応えし、
最適なマネープランをご提案いたします。



資産運用相談コーナー開設店舗
(営業時間: 平日 9:00-15:00)

新下関支店 宇部支店 湯田支店 末武支店 岩国支店 桜木支店
0832-57-0385 0836-31-4183 083-932-2251 0833-41-6511 0827-21-8211 0834-28-4511

●フリーコール: 0120-709-319 (受付時間: 平日 10:00-17:00) ●E-mail: call@saikyo-bank.co.jp

あなたのあしたに
西京銀行

—お知らせ—

編集部では、「さいきょうベンチャーリポート」に掲載させて頂ける企業を募集しています。

「取材に来て欲しい!」

「自分の会社も載せたい!」

「この商品をアピールしたい!」

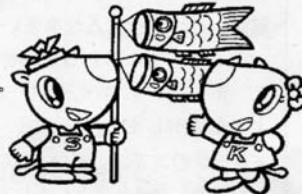
と思われましたら、ぜひ編集部までご連絡下さい。

たくさんのご応募お待ちしております♪

また、記事へのご意見、ご感想もお寄せ下さいませ。

私たちはこれからも、より良い紙面作りを目指していきます。

掲載企業へのお問い合わせも株式会社・ベンチャーズ
にお気軽にご連絡下さい。



「さいきょうベンチャーリポート」第45号

平成19年5月1日発行

発行元: 株式会社・ベンチャーズ

〒745-0015 周南市平和通1丁目11の2

TEL0834-33-2661 FAX0834-33-2662

毎月1日発行